



寅づくし —千支を愛でる—

2022年1月2日(日)～2月13日(日)
京都国立博物館 平成知新館(2F-11・3)

みなさんは、虎にはどんなイメージをお持ちしていますか？

野生の虎は日本にはいません。むかしから、

毛皮が輸入されたり、ごくまれに生きた虎が中国

や朝鮮半島から連れて来られたりしましたが、江戸

時代の終わり頃になるまで、多くの日本人にとって虎は、

実際には見ることのできない、絵やお話の中の生き物だったのです。

獠猛で神聖な動物と考えられた虎は、魔よけのために描かれました。

一方で、誰かの強さや立派さを表すために、おとなしく懐いた姿で描かれること

もあります。虎のいなかった日本では、猫のように可愛らしい姿でも

表現されました。

日本をはじめとするアジアの人々は、虎にどんな思いを込めて美術

に表したのでしょうか。展示室で様々な表情を見せる虎たちの中に、ぜ

ひあなたのお気に入りを見つけてください。



青銅虎符
松井宏次氏寄贈・京都国立博物館



猛虎図 伝李公麟筆 京都・正伝寺

寅年の「千支を愛でる」は
ファミリー向け！

やさしい解説文
(小学校高学年～)

作品を見るのが楽しくなる
ワークシート
(小学校低学年～)
あります！

イベント

新春 雅楽演奏会

日時：2022年1月9日(日)
午前11時～、午後2時～ *各回約40分
場所：平成知新館 講堂

芸舞妓 春の舞

日時：2022年1月10日(月・祝)
午前11時～、午後1時～ *各回約30分
場所：平成知新館 講堂

参加方法：いずれも、当日10時より、平成知新館1階グランドロビーにて各回の整理券を配布し、定員になり次第、配布を終了します。定員100名(自由席)、無料(ただし、当日の観覧券等が必要)。

留学生の日

京都国立博物館では、留学生の方々には日本文化への理解を深めていただくため、「留学生の日」を設けています。今年度は2022年1月22日(土)に実施します。留学生の方は、学生証をご提示いただくと、無料で名品ギャラリー(平常展示)をご観覧いただけるほか、多言語スタッフによる解説も予定しています。この機会にぜひご来館ください。

【イベントに関するお問い合わせ】

京都国立博物館総務課事業推進係 TEL.075-531-7504
(月～金の10～12時・13～17時に受付 *祝・休日は除く)

関連土曜講座

1月15日(土)「虎—現実と空想のはざまに—」

講師：水谷亜希(当館主任研究員)

※平成知新館 講堂にて午後1時30分～3時に開催。定員100名、聴講無料(ただし、当日の観覧券等が必要)。

※当日10時より、平成知新館1階グランドロビーにて整理券を配布し、定員になり次第、配布を終了します。

同時開催

◆特集展示 新収品展

2022年1月2日(日)～2月6日(日)



百犬図 伊藤若冲筆 京都国立博物館

◆特集展示 後期古墳の実像

—播磨の首長墓・西宮山古墳—

2022年1月2日(日)～2月13日(日)



竹に虎文様掛下帯(部分) 京都国立博物館